

同教員ズル博識会ヲ開催シタルカ稗史約一千四百名在芳川村ノ門
 会ノ議ニ決テ中會管古今并嘉孝ノ國直彦等ノ演説アリ全十
 時五分開会シタリ

一會長芳川 哲人 大正十一年二月二十七日貴族院議長ニ合見ヲ申込メ
 其承諾ヲ得タル以テ三月一日午前十時十五分芳川ハ合員ヲ扶桑南
 吉ノ下村利一 窪田清 矢島三郎 中村辰夫外九名ヲ從ヒ奏議
 院議長室ニ於テ全議員長ト合見見芳川 扶桑 下村 窪田 矢島 中
 村等ハ著述及失業問題ニ關シ著述選舉ハ速ニ施行セシメテ早ク望
 議院ハ多數國政ヲ實現シ得ニ至ルハ長任ノセシガ精練ヲ仰セントセ
)現方芳徳者ノ多數ハ議院政治ニ否議ニ直接行動ヲ主張セリ吾々
 菅業芳徳者ハ議院政治ノ中心トシテ停選改善ヲ望ミニシテ一
 年ハハ十年候制限ノ結果ハ官業芳徳者ニ多數ノ失業救済ニ關ス
 スニ至ルベシト本件ニ對シテハ過激者前者ヲ訪問シテ失業救済ニ關ス
 ル者前者ノ意見ヲ聽取シ吾々ノ意見ヲ之陳述シ置ケルハ現在既兵工廠
 職ニシテ十数年勤続シ尚且月収五十円位ニテ者子タルハ生活困難
 状態ヲ有リ故ニ職工ノ退職失業手出ハ少トシテ日給一員分位ヲ支給
 記出之レニ關シテハ國家ニ對シ失業救済ニ對シ失業救済ニ對シ失業
 出シタル者少キ莫分會スラ開カレル状況ニシテ多數芳徳者ハ最早議
 院ニ對シ是ヲ足ラカル自覺セルモノ、如シ休シテ貴族院ニ就テハ本問題ニ就テ衆
 議院ニ對シ若ク登セラレタシト之々陳情スル處アリタルニ議院ハ著述問題ノ
 商大ナルコトハ言フ俵タルス然レハ本問題ハ衆議院ニ直接交渉アリテ失業問
 題ニ就テハ考慮ノ上相當ノ方法ヲ得ルベシト卷ハ全十時十分合見サリ芳
 川等ハ著述シタルカ在ニ衆議院ニ至リ議院ニ合見サリ不在ノ故ヲ以テ
 解散セラレ變ニ副議長ニ合見サリ不在ノ故ヲ以テ解散セラリ
 以テ之ヲ以テ知ラハ合見ノ日時ヲ指示セラレタリト述ハ合見書記官ニ
 復電誌サリ同合見ハハ其ノ日時ヲ指定スベシト卷ハ九時ニシテ前シ

一 大正十一年三月十六日午前十時組合代表中村辰夫外七名ハ稗史議院議長
 長ヲ合見合見ニ訪門軍縮ニ伴フ官業芳徳者ノ失業救済ニ關シ三月分ノ
 解散手者ヲ支給セラルノ條付カケル之ニ對シ全議員長ヨリ希望ノ意見ヲ
 トタル者少キ他因係各相ノ意見ヲ實ニシタル上未ルニ三月分前十時
 合見合見ニ於テ何分ノ面差ヲ與フベシト埃抄ヲ得全十一時退出無テ幸保尔
 新ニ仲小號廢止ヲ決ヒタル不在ニテ合見スルサ得マシテ退出セリ
 一 全會三月十一日午前十時十分三十分ニ至リ五子町字五子一三四一六泉成雄方ニ於
 テ新報合見開催在記筆頭ヲ歸議院全十一時三十分散會セリ
 但し其場所及選法方法ニ對シハ最高幹部ニ任スルコト
 一 全會三月二十日午前十時十分三十分ニ至リ五子町字五子一三四一六泉成雄
 方ニ於テ開會並ニ下村利一ハ天神門ニ中村辰夫ハ諏訪門ニ於テ左記宣
 傳ポスター約二十枚ヲ配布シタリ

一 失業防止大示威運動
 東京會場 五月三十一日
 時日 三月三十一日正午
 場所 マスカ山ヨリ五子町道ヲ經テ三五ノ京ニ至ル
 花火ヲ散布
 一 宣傳紙ヲニ是ケル失業防止ヨ望ム者ハ男女別ナク參加セラレタシ
 多日ノ大示威運動ハ活潑空気ニ振擲シ長ク保存シ記念トス
 一 三月廿五日午後四時十分府下五子町字五子一三七空地ニ於テ失
 業問題ニ關シ國傳者ヨリ對スル運動經過ノ報告演説會開催案合者
 約二百五十名芳川 哲外大名ノ演説アリ合五時十分散會セリ
 一 四月八日午後四時三十分ヨリ五子町 沃屋草空地ニ於テ五子町 部